

企業情報

社会福祉法人 菊清会 さくらしんまち保育園
業種：保育業
従業員規模：101~300人

課題分類

業務プロセスの効率化
社内の働き方改革

DX実践の目的

コミュニケーション

コミュニケーションツールの導入で紙とペンから脱却し、リアルタイムでの情報共有を実現

課題内容

- 保育園を運営しているが、多忙な保育士は紙ベースや人づてでの情報共有のため、コミュニケーションに課題があった。
- 保育士は、伝達事項をペンで手に書き残したり、業務日誌を作成するために逐一事務室に移動し、手書きしていた。
- また、保育士は園児の様子やけが報告など全職員へのタイムリーな伝達も不十分だった。様々な情報に対して優先度を整理するのが難しく、現場で混乱を招いていた。

実施概要

- 日常的に使用しているチャットツールと同様の操作性で、忙しい保育士でも容易に使い始められるビジネスチャットツールを導入した。
- 紙で管理していた業務日誌やけが報告書等の書類をテンプレート化し、掲示板機能で投稿するように書類管理の方法を変更。スマホやタブレットでいつでもどこでも確認できるようにした。
- グループトーク機能を活用して、1日のクラス予定の全体共有を行った。

効果

- 掲示板機能を活用することで、業務日誌やけが報告書がデジタル化されることで情報共有がスムーズになり、朝礼の時間も約7割に短縮された。
- これらの取組の結果、情報共有が円滑になることで保育士の負担が軽減され、仕事に対するやりがいが高まった。
- グループトーク機能を使用して、クラスの垣根を越えたコミュニケーションがとれるようになった。

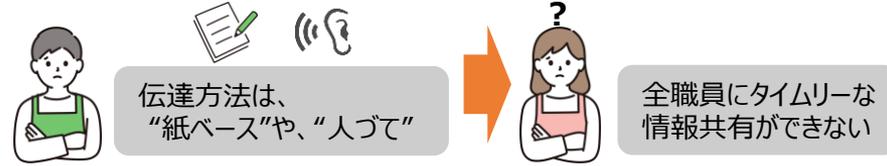
ITツール

【使用ツール】LINE WORKS <https://line-works.com/>
【取り扱い企業】LINE WORKS株式会社 <https://line-works.com/>
【ツール概要】情報や予定の共有を円滑にするコミュニケーションツール

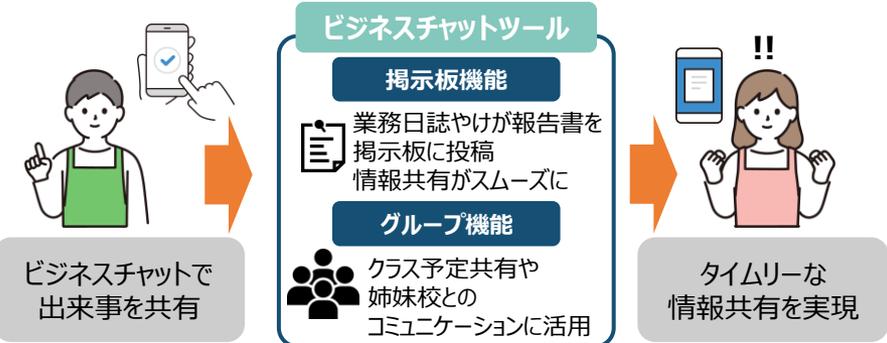


- **ビジネスチャットツールにより、リアルタイムで漏れなく情報共有**
- **掲示板機能の活用で、朝礼時間を約7割に短縮**
- **忙しい保育士にとって手間となっていた、紙ベースでの情報共有から脱却**

【導入前】保育士は、「紙」や「人づて」で情報共有を行っており、リアルタイムでの情報伝達できていなかった



【導入後】情報共有のためビジネスチャットツールを導入



リアルタイムでの情報共有

クラスを超えた全体での情報共有

保育士の負担軽減

補助金活用

-